

平成 27 年度 第 51 回秋田県病院薬剤師会総会並びに学術講演会報告
5 月 16 日 (土) 15 時～ たざわこ芸術村「温泉ゆぼぼ」
秋田県病院薬剤師会総会 (1F バンケットホール紫苑) (出席者：64 名)

総会に先立ち、昨年 7 月にご逝去された海野勝男名誉会長、8 月にご逝去された渡邊勝宏顧問に対し、黙祷が捧げられた。

大曲厚生医療センター 小松田 徹先生 総合司会の挨拶

開会の辞 秋田県病院薬剤師会副会長 藤原 斉先生
会長挨拶 秋田県病院薬剤師会会長 金沢 久男先生
・改正薬事法第 25 条の 2 により、薬剤師はすべての処方薬の説明をする義務を負ったこと、病棟業務実施加算算定とそれを実現するための薬剤師増員に向けた実績を作ること、薬歴不記載問題と薬歴の意義、院内薬局問題、日病薬の新しい認定制度、実務実習などについて述べられた。

来賓祝辞 秋田県薬剤師会会長 松田 泰行先生
海野勝男名誉会長と渡邊勝宏顧問ご逝去に触れられ、先人の業績に敬意を表し、薬歴記載や在宅医療へ関わりなど、原点にかえりながらオール薬剤師で現在の難局を乗り越えていきたいと話された。

祝電披露 日本病院薬剤師会会長北田光一様、秋田県薬剤師会会長松田泰行様、(株)薬事新報社代表取締役上山誉晃様、有限会社ひまわり代表取締役山田亮逸様よりの祝電を頂いた。

議長選出 執行部より議長には斉藤匡昭先生(大曲厚生医療センター)が選出され、総会員数 309 名、総会出席者 64 名、委任者 213 名の合計 277 名により、本会の成立が宣言された。

議長挨拶 本会成立の宣言(会員合計 309 名:出席者 64 名 委任状 213 名)

議事録署名人選出 議長より国安 美和先生(大曲厚生医療センター)、加賀谷 明日美先生(大曲厚生医療センター)が選出された。

議事 <報告事項>

- (1) 第 50 回日本病院薬剤師会臨時総会報告
秋田県病院薬剤師会会長 金沢 久男先生
- (2) 平成 26 年度庶務報告ならびに生涯研修報告
庶務報告 後藤 敏晴先生
生涯研修報告 七海 泰彦先生
- (3) 平成 26 年度決算報告ならびに会計監査報告
決算報告 佐々木 修先生
会計監査報告 水沢 重則先生

*現金出納台帳、領収書綴り、普通預金通帳、現金等について突合せを行ったところ、いずれも適正に処理されていたとの報告があった。議長より決算報告ならびに会計監査報告について拍手にて承認を求められ、多数とみなし平成 26 年度決算報告ならびに会計監査報告は承認された。

- (4) その他
平成 26 年度プレアボイド報告 薬剤業務委員長 平泉 達哉先生

平成 27 年度実務実習調査結果 会長 金沢 久男先生
<協議事項>

(1) 平成 27 年度事業計画 (案) ならびに平成 27 年度予算 (案)

平成 27 年度事業計画 (案) 金沢 久男先生

平成 27 年度予算 (案) 佐々木 修先生

* 議長より平成 27 年度事業計画(案)ならびに平成 27 年度予算 (案) について拍手にて承認を求められ、多数とみなし平成 27 年度事業計画(案)ならびに平成 27 年度予算 (案) は承認された。

(2) 平成 27・28 年度日本病院薬剤師会代議員及び補欠の代議員

選挙管理委員長 後藤 康晴先生

日本病院薬剤師会代議員 金沢 久男先生 (大館市立総合病院)

補欠の代議員 南雲 徳昭先生 (市立秋田総合病院)

* 議長より拍手にて承認を求められ、多数とみなし、それぞれの先生が選出された。

(3) 次期開催地担当者挨拶 中央地区担当副会長 南雲 徳昭先生

平成 28 年度秋田県病院薬剤師会総会は 5 月 14 日 (土)、15 日 (日) 秋田市のさとみ温泉で開催予定。次週には福島県郡山市にて日本病院薬剤師会東北ブロック第 6 回学術大会が開催される。

(4) 秋田県病院薬剤師会選挙規定 (案) について

会長 金沢 久男先生

日病薬の代議員は選挙で決める必要があり、規定を作ることになった。

本規定は「秋田県病院薬剤師会選挙規定」として平成 27 年 6 月 1 日より施行する。

* 議長より拍手にて承認を求められ、多数とみなし、選挙規定 (案) は承認された。

閉会の辞 副会長「三浦昌朋先生」欠席にて総合司会「小松田徹先生」が閉じる。

表彰式 16 : 15 ~

平成 27 年度 秋田県病院薬剤師会優良発表賞表彰式

受賞者 秋田県立脳血管研究センター 仙葉 悠紀先生

大曲厚生医療センター 相場 悠樹先生

平成 27 年度 秋田県病院薬剤師会学術奨励賞表彰式

受賞者 秋田赤十字病院 巖根 靖子先生

由利組合総合病院 遠藤 征裕先生

平成 27 年度 秋田県病院薬剤師会賞表彰式

受賞者 前秋田大学医学部附属病院 副部長 寒河江 喜紀先生

学術講演会 16 : 30 ~

座長 秋田県病院薬剤師会 会長 金沢 久男先生

伝達講習 『日病薬病院薬学認定薬剤師制度について』

秋田県病院薬剤師会 常務理事 生涯研修委員長 七海 泰彦先生

講習内容

・日病薬生涯研修認定制度の変更、運営・実施についての説明。

- ・日病薬生涯研修認定制度の研修カリキュラム・対象研修・認定要件の説明。
- ・日病薬生涯研修認定制度の更新要件・認定試験・認定までの流れの説明。

特別講演 『青年は荒野をめざす。医療従事者は何をめざす。』

～医療安全と感染対策について～』

大曲厚生医療センター 内科 科長 佐々木 重喜先生

講演内容

ヒューマンエラーはどこでも起こりうる。被害量を予測できない。防ぎにくい。根が深い。ヒヤリハット報告の仕方やフィードバックの仕方に工夫が必要である。感染を起こした場合は安全で質の高い医療とはいえないので、チーム医療で感染対策をやっている人は医療安全管理もやってほしいし、医療安全管理をやっている人は感染対策もやってほしい。医療安全と感染対策は被るところがある。感染対策の目的は患者を病原菌から守ることである。感染対策の柱は病原体が広がるのを防ぐ、耐性菌を作らないことである。抗菌薬の適正使用では採用品目を減らす。症例ごとに抗菌薬の原則が守られているかチェックする。問題の症例には処方者の意図を確認した上で軌道修正の提案を行うことが大切である。

懇親会および新入会員紹介（1F 郷土料理館 北浦）18：30～（参加者：71名）

（宿泊者：56名）

| | | |
|-------|---------------|------------|
| 司会 | 大曲厚生医療センター | 小松田 徹先生 |
| 挨拶・乾杯 | 大曲厚生医療センター | 太田 寿孝実行委員長 |
| 新入会員 | 北秋田市民病院 | 石川 孝仁先生 |
| | 大館市立総合病院 | 紺野 玲央先生 |
| | 能代厚生医療センター | 田村 直斗先生 |
| | | 荒木 邦宏先生 |
| | | 伊藤 璃香先生 |
| | 秋田大学医学部附属病院 | 笹渕 航平先生 |
| | | 加藤 駿介先生 |
| | | 松田 瞳先生 |
| | | 熊谷 優先生 |
| | | 森澤 さおり先生 |
| | (不参加) 尾関 智子先生 | |
| | 秋田赤十字病院 | 岡部 聡美先生 |
| | 中通総合病院 | 大和田 瑛介先生 |
| | | 千葉 瑛子先生 |
| | 秋田厚生医療センター | 伊藤 有紀先生 |
| | | 佐々木 美奈先生 |

中締め 20：30

大曲厚生医療センター 太田 寿孝実行委員長

懇親会 2次会（2F 片栗花）20：30～

お開き・解散 23：00

学術講演会：シンポジウム

日時：平成 27 年 5 月 17 日（日）9：00～10：30

場所：たざわこ芸術村「温泉ゆぼぼ」（1F バンケットホール紫苑）（出席者：56 名）

座長 秋田県病院薬剤師会副会長 南雲 徳昭先生
シンポジウム（9：00～10：00）

テーマ「病院薬剤師における医療安全への取り組み」

シンポジスト 本荘第一病院 渋谷 香織先生
能代厚生医療センター 藤原 斉先生
秋田大学医学部附属病院 庄司 学先生

講演内容

「本荘第一病院における医療安全への取り組み」 渋谷 香織先生

本荘第一病院のインシデント・アクシデントの現状や病棟巡回に参加していること、ハイリスク薬とは何なのか知らない医療スタッフもおり、薬剤師から積極的な情報発信が必要であること、病院薬剤師と薬局薬剤師による情報共有が必要であるという、薬薬連携の重要性についての発表であった。

「病院薬剤師における医療安全への取り組み」 藤原 斉先生
ー医療安全対策室メンバーとしてー
「TO ERR IS HUMAN」

能代厚生医療センターのインシデント報告状況と分析結果、新しい試みとして与薬マニュアルを題材とした全病棟対象の医療安全対策マニュアルコンテストの実施経緯と新マニュアル作成についての報告があった。部門の壁を乗り越えて医療安全もチーム医療であること、今年度から、医療安全管理体制が変わり、医療安全管理委員会、医療安全対策室、セーフティマネージャー委員会には、医療安全管理者講習終了者が関与しているとのことであった。

「病院薬剤師における医療安全への取り組み」 庄司 学先生
～ゼネラルリスクマネージャーとして～

大学病院の医療安全管理部の構成と GRM の業務と要件についての説明があった。実際どのような業務を行い、事故発生時はどのような対応をしているか、また、国立大学病院における薬剤師 GRM の現状や薬剤師 GRM として感じたことの発表があった。新入職者へのオリエンテーション実施や、実務実習における医療安全教育についても発表され、最後に今後の課題と取り組みについて提起された。

総合討論（10：00～10：30）

シンポジストを含め活発な意見交換が行われた。医療安全はチーム医療であり、薬剤師は医薬品だけではなく現場の状況も把握し、医療安全に係わっていかなければならない。

記念撮影（10：40～
解散

平成27年5月31日
総会並びに学術講演会報告作成者
太田 寿孝（大曲厚生医療センター）





